

第18回「ENEOS子ども科学教室」を横浜市内の小学校で開催 社会貢献活動の一環として、次代を担う子どもたちとの交流を実施

当社(社長:西尾 進路)は、中央技術研究所(所長:岡崎 肇、所在地:神奈川県横浜市中区)の若手研究員が、3月7日、8日の2日間、地元横浜市の元街小学校を訪問し、第18回「ENEOS子ども科学教室」を開催しましたのでお知らせします。

当社研究所では社会貢献活動の一環として、小学生を対象とした科学教室を2004年度から実施しており、これまでに約700名の子供達へエネルギーについて、分かりやすく説明を行ってまいりました。

第18回目の実施となりました「ENEOS子ども科学教室」では、当社が生み出した様々な技術の中から石油全般、潤滑油、燃料電池、および石油化学をテーマに取り上げ、実験やクイズを織り交ぜながら若手研究員が分かりやすく説明しました。参加した子供たちからは「こんなところにも石油は使われているんだ」「燃料電池は環境にやさしいから自分の家でも使ってみたい」などの感想があり、石油から生まれた技術・製品について興味を持ってもらうことができました。

今後もこのような活動のほか、小中学校の生徒を対象とした製油所見学会の実施など、エネルギーや環境に関する啓発活動を積極的に進め、次代を担う子供たちとの交流・地域との共生に努めてまいります。

記

1. 実施日 2007年3月7日(水)、8日(木)
2. 場 所 横浜市立元街小学校
3. 対 象 5年生80名
4. 内 容
 - (1)石油についての説明と石油サンプルの紹介
 - (2)模擬原油を用いた蒸留実験
 - (3)潤滑油を用いたさび止め実験
 - (4)燃料電池で動く模型を使った実験
 - (5)表面張力で舟を動かす実験



ENEOS子ども科学教室の様子1



ENEOS子ども科学教室の様子2